

脳血管障害片麻痺患者における歩行の動作分析

関西医療大学大学院 保健医療学研究科 鈴木俊明

臨床場面で歩行の動作分析をおこなう際には、以下の点が必要になる。

- 1 健常者の歩行の特徴を把握する。
正常歩行での関節運動とそれに関係する筋活動を学ぶ。
- 2 脳血管障害片麻痺患者の歩行の特徴を把握する。
脳血管障害片麻痺患者の歩行の特徴を患者さんのビデオで観察・分析する。患者の動作から問題点を抽出する場合には、正常歩行の内容との比較が重要となる。

上記2点について運動学的解釈を考える。